

I 内視鏡センター後期研修プログラム

II 研修プログラムの目的及び特徴

光学医療とは内視鏡を用いた診断・治療を行う診療分野である。その内容は消化器・呼吸器・泌尿器系の内視鏡のみではなく、眼底・関節・乳腺にまで及び、診断・治療領域が多岐に亘っている。当診療部所属の医師は消化管疾患を専門としており、内視鏡による診断・治療を行っている。特に色素や拡大内視鏡を用いた詳細な診断と個々の症例に応じた適切な治療法を選択していることがわれわれの特徴である。このプログラムでは消化管内視鏡による診断・治療を研修し、日本消化管内視鏡学会専門医取得のための症例経験と学会への参加を目的とする。

当診療部の診療実績(2013年1月から12月、当診療部における他診療科の実績は除く)

上部消化管内視鏡 1616例(うち治療内視鏡 33例)

下部消化管内視鏡 569例(うち治療内視鏡 37例)

III 研修プログラム責任者、連絡担当者

研修プログラム責任者：加藤 順

連絡担当者：對田 尚

電話：043-222-7171(内線 6412)

IV 研修指導医

對田尚：(助教、消化器内科、日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化管内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医)

V 研修課程

1 研修期間割

3年次：大学病院で1年間研修(内科認定医または外科専門医取得のための経験を継続する)

4～7年次：関連病院(成田赤十字病院、沼津市立病院など)で内科または外科研修、要件を満たし次第内科認定医または外科専門医受験

8年次：消化管内視鏡学会専門医取得

2 週間スケジュール

曜日	午前	午後
月曜日	上部内視鏡検査	カンファレンス
火曜日	外来、上部内視鏡検査	治療内視鏡、ERCP
水曜日	外来、上部内視鏡検査	小腸内視鏡検査、カプセル内視鏡、大腸内視鏡治療
木曜日	外来、上部内視鏡検査	小腸内視鏡検査、大腸内視鏡検査
金曜日	外来、上部内視鏡検査	小腸内視鏡検査、カプセル内視鏡、大腸内視鏡治療、ERCP

3 研修内容と到達目標

日本消化器内視鏡学会専門医申請には日本内科学会認定医または日本外科学会認定医もしくは専門医の資格を有し、5年以上の継続日本消化器内視鏡学会会員であること、指導施設における5年以上の研修歴が必要である。また、専門医認定のための診療実績基準は研修期間(5年以上)内に上部消化管1000例以上、下部消化管100例以上、治療内視鏡20例以上となっており、当診療部での研修により実績を積む。特に治療内視鏡は症例数が多く、十分に研修できると思われる。

VI 評価

日本消化器内視鏡学会専門医受験資格を満たし、受験。

VII 専門医修得後の進路

希望に配慮し、個別に対応する。